

国 語 研 究

第 35 号

2017年 3月

落語「蛇含草」をめぐる……	岡田 充博	(1)
崩壊する「私」の世界 —内田百閒「サラサテの盤」における感覚表現—	大鋸 洋樹	(18)
都市に重層する二面性 —森鷗外「普請中」論—	坂本 主史	(32)
授業のワークをデザインする生徒たちの「笑い」 —「小論文」の授業コミュニケーションの会話分析から—	高橋 佑希	(117) (63)
第Ⅲの意味を表す「もう」について —インタビューデータにおける「もう」の使用実態から—	張 希朱	(102) (78)
YNU 書き言葉コーパスに見られる日本語学習者の接続詞の使用について —韓国語母語話者の「逆接」関係の接続詞に注目して—	金 蘭美	(87) (93)
在中朝鮮人の植民地日本語に関する社会言語学的考察	黄 永熙	(72) (108)
「働どころ」を押さえた文法記述に対する反応調査 —韓国語母語話者を対象とした「ようになる」を例に—	植松 容子	(57) (123)
語彙調査に基づくタスクの分類 (2) —タスク別・レベル別・品詞別使用語彙の傾向から—	橋本 直幸	(43) (137)
メール文における挨拶表現 —韓国における日本語学習者のメール文調査から—	金庭久美子・金玄珠	(30) (150)
認知言語学・用法基盤モデルの誕生の背景からみる特徴と 第二言語習得研究への応用	橋本ゆかり	(17) (163)
横浜国立大学日本語教育専門領域のカリキュラム — 2017 年度からのカリキュラム改訂を主にして—	河野 俊之	(9) (171)
大学生における「なく中止形」 —アンケートによる 20 年間の動向—	金澤 裕之	(1) (179)
<hr/>		
彙報	2016 年度卒業論文・修士論文・卒業制作題目一覧	(180)
	大会 (総会・研究発表・講演) 報告	(183)
	卒論・修論発表会報告	(184)
会則		(187)
役員・規定		(189)